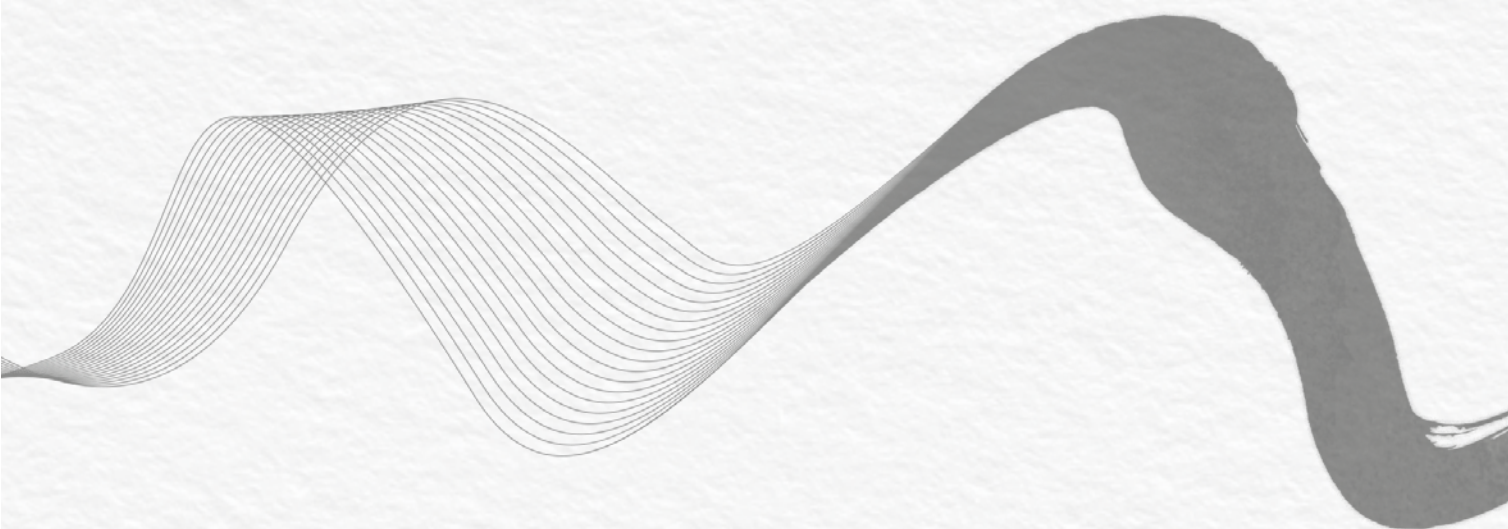





第50期 第2四半期報告書

2025.7.1 >>>> 2025.12.31



 朝日インテック株式会社

証券コード:7747

株主の皆様へ

企業価値のさらなる拡大に向けて 新中期経営計画「Building the Future 2030」を推進 メディカル事業・デバイス事業とも増収となり、 上半期の業績は好調に推移

代表取締役社長 宮田 寛次



長期ビジョンの実現に向け、医療の進歩と社会への貢献を通じて持続的な成長を目指します

株主の皆様には、日頃より当社グループへのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、メディカル事業・デバイス事業ともに堅調に推移し、当社グループは引き続き高い成長軌道を維持することができました。これもひとえに、世界各国で当社製品をご採用いただいている皆様、ならびに株主の皆様方の長年にわたるご支援の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

当社グループは現在、2026年6月期を初年度とする新中期経営計画「Building the Future 2030」のもと、持続的な成長と企業価値のさらなる拡大に向けた取り組みを推進しています。メディカル事業においては、循環器領域・非循環器領域の両分野で製品競争力の強化とグローバル展開を進めるとともに、デバイス事業においては、医療部材分野および産業部材分野の双方

で顧客ニーズに即した技術開発と供給体制の強化に注力しています。

また、研究開発、人財などへの継続的な投資を行いながら、売上高成長と生産性向上の両立を図ることで強固な事業基盤の構築を進めています。これらの取り組みが着実に成果として現れ始めていることを、今回の業績は示しているものと考えています。

当社グループは今後も「Building the Future 2030」で掲げた長期ビジョンの実現に向け、医療の進歩と社会への貢献を通じて持続的な成長を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

メディカル事業・デバイス事業とも好調に推移し、増収となりました

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、メディカル事業・デバイス事業ともに好調に推移し、

売上高は712億66百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

メディカル事業につきましては、国内市場では非循環器領域における末梢血管用の仕入製品が好調に推移、海外市場では循環器領域および非循環器領域ともに増加したことにより、国内・海外ともに売上高が増加しました。循環器領域ではPCIガイドワイヤーを中心に、海外地域において売上高が増加しました。非循環器領域では、脳・腹部血管系製品は中国市場では減少しましたが、末梢・腹部血管系製品が米国・欧州・アジアにおいて増加しました。

デバイス事業につきましては、医療部材・産業部材ともに好調に推移しました。医療部材については、米国企業向け循環器系検査用カテーテル部材の取引の増加に加え、ニッタモールド社の連結子会社化に伴い売上高が増加しました。産業部材については、海外市場のレジャー関連取引が増加したほか、同じくニッタモールド社の連結子会社化により売上高が増加しました。

売上高の増加や生産性向上による売上総利益率の上昇が想定以上に進み、全利益項目において大幅増益となりました

売上総利益は、売上高の増加や生産性改善に伴う売上総利益率の上昇により503億11百万円(同21.1%増)となりました。営業利益は米国の販売強化を目的とした営業関係費用や研究開発費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、243億72百万円(同40.1%増)となりました。経常利益は、為替差損の

減少により241億43百万円(同43.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益による特別利益の増加により172億14百万円(同40.4%増)となりました。

業績予想の修正につきまして

メディカル事業・デバイス事業ともに業績が好調に推移していることに加え、為替レートが期初の想定より外貨高で推移していることなどから為替レート前提を見直し、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正しました。

売上高は期初計画に対して、メディカル事業は海外市場を中心に好調に推移し、デバイス事業は医療部材・産業部材とも取引増加により、好調な推移を見込んでいます。

また、売上高の増加に加え、生産性の改善により、売上総利益が想定を上回る予定です。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が上半期実績は予算未消化であるものの通期では期初計画通りに使用することに加え、従業員を中心とした業績連動賞与を追加で見込んでいるため期初予想に対して増加する見込みですが、売上総利益の増加などにより大幅に上回る予定です。

経常利益につきましては営業外損益に大きな変動はなく、営業利益の増加などにより大幅に上回る予定です。

当期純利益は、政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益の計上などを見込み、増加する予定です。

個人投資家の皆さまに向けて当社の事業内容などを動画で解説

個人投資家の皆さまに向けて、当社の事業内容や中長期的な成長戦略を「会社概要」「中期経営計画」の2部にわけて紹介する動画を公開しています。

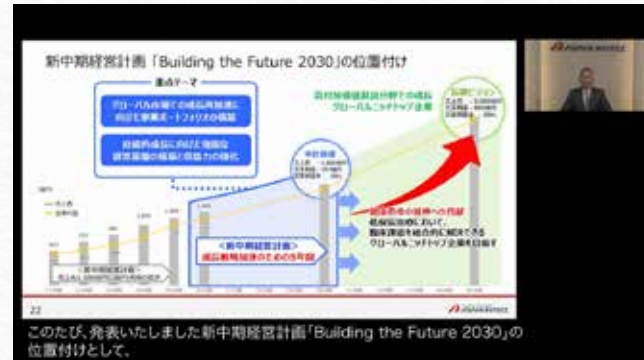
第一部「会社概要」では事業の特長や主要製品、市場シェア、当社の4つの強みについて、第二部「中期経営計画」では、パーパスから長期経営ビジョン、2035年にありたい姿の実現に向

けた新中期経営計画「Building the Future 2030」の位置付けと基本方針、重点テーマ、新たな戦略図、成長戦略、目標指標などについて、当社代表取締役社長の宮田憲次がわかりやすく解説しています。

ぜひご覧いただき、持続可能な成長の実現に向けた新中期経営計画への理解をより深めるためのご参考としてください。



「個人投資家の皆様へ」(動画)
二次元コードよりご覧いただけます



上:会社概要 下:中期経営計画

設立50周年記念配当および普通配当の増配により、配当予想を修正

当社は、2026年7月8日に設立50周年を迎えます。これまでの50年にわたる歩みが株主の皆様をはじめとする多くの方々のご支援の賜物であることを、深く感謝申し上げます。

この節目を記念し、株主の皆様への感謝の意を形としてお示しするため、記念配当を実施することを織り込んだ2026年6月期の配当予想の修正を行いました。本記念配当は2026年6月30日を基準日として、1株当たり5.79円を予定しております。

また、足元の業績が堅調に推移していることから、業績予想の上方修正を踏まえ、配当性向35.0%を基準とする株主還元方針に基づき、今後の事業展開および財務状況等を総合的に勘案した結果、普通配当についても増配を織り込んで配当

予想を修正しました。

以上の結果、2026年6月期の期末配当予想は、業績の上方修正を反映した普通配当に設立50周年記念配当の増配を加えた内容としております。

(注)

- 2026年6月期の期末配当金につきましては、2026年8月開催予定の取締役会及び2026年9月開催予定の定時株主総会にて正式に決定する予定です。
- 配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

区分	内容		
	配当金 修正前	配当金 修正後	配当性向
普通配当	30円91銭	40円31銭	35.0%
記念配当	なし	5円79銭	5.0%
期末配当金 合計	30円91銭	46円10銭	40.0%
基準日	2026年6月30日		
その他	2026年9月の定時株主総会における決議を前提		

一般患者さま向け医療情報サイト「やさしくわかる病気と治療」

当社は、患者さまやご家族に寄り添う情報発信の一環として、コーポレートサイト内に医療情報サイト「やさしくわかる病気と治療」を開設しています。

国内外で罹患率の高い虚血性心疾患や脳卒中は命に関わる重大な疾患である一方、生活習慣の改善によって予防できる側面もあります。また、下肢動脈疾患のように認知度が低く、気づかないうちに進行してしまう疾患も存在します。そうした背景から、予防の重要性を周知するとともに、適切な医療につながるための情報を広くお届けしています。

本サイトでは、医師の監修に基づき正確性と明瞭性を重視した情報を提供しています。特に治療の選択肢や日常生活に

おける注意点をなるべくわかりやすい表現で紹介し、幅広い方々にご活用いただけるよう心がけています。今後も新たな疾患領域の情報を順次追加し、さらに内容の充実を図ります。



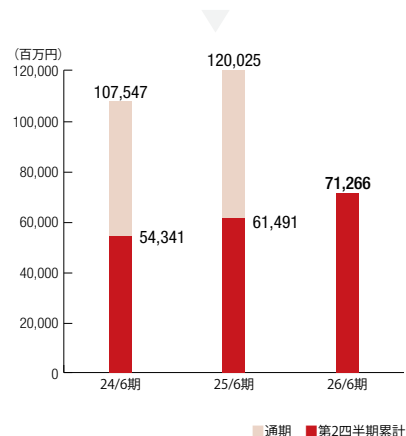
この度、海外の方にもご覧いただけるよう、英語版のページを新設しました。当社は、より多くの方々に医療を身近に感じていただき、安心して治療を受けられる社会の実現に貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。

連結財務データ

売上高

売上高 前年同期比 15.9%増

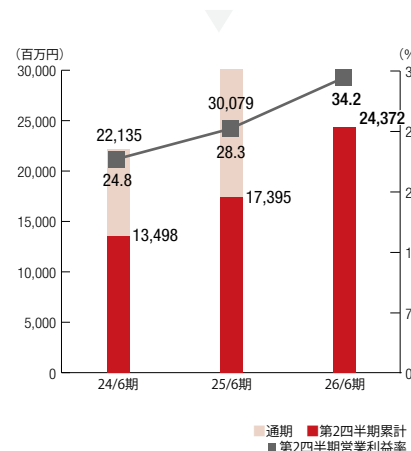
メディカル事業は国内・海外ともに全地域において売上高が増加、デバイス事業は医療部材・産業部材ともに売上高が増加。両事業とも好調に推移し、増収となりました。



営業利益／営業利益率

営業利益 同 40.1%増

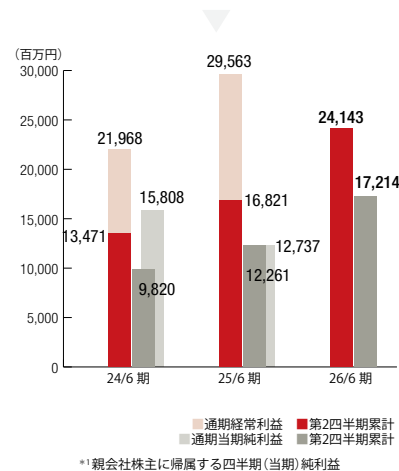
米国の販売強化を目的とした営業関係費用や研究開発費などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、増益となりました。



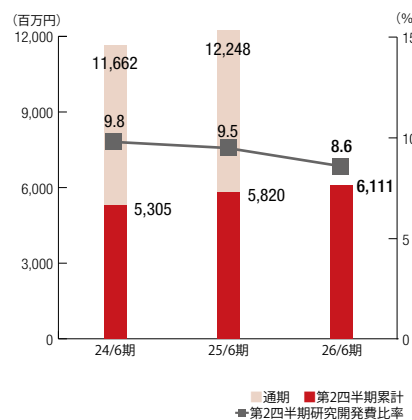
経常利益／四半期(当期)純利益*1

経常利益 同43.5%増 四半期純利益 同40.4%増

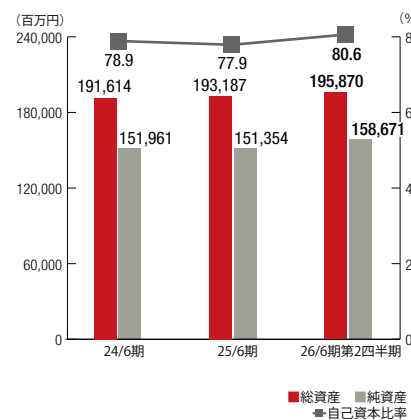
経常利益は、為替差損の減少により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益による特別利益の増加により増益となりました。



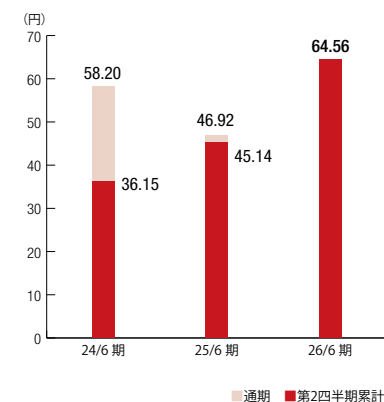
研究開発費／研究開発費比率



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



会社情報／株式情報 (2025年12月31日)

会社概要

商号 朝日インテック株式会社
(ASAHI INTECC CO., LTD.)

設立 1976(昭和51)年7月8日

資本金 188億6,079万円

従業員数 連結9,555名／単体1,212名

上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場)
名古屋証券取引所(プレミアム市場)

主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売
②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

役員

取締役会長…………… 宮田 昌彦
代表取締役社長…………… 宮田 憲次
常務取締役…………… 西内 誠
取締役…………… 寺井 芳徳
取締役…………… 伊藤 瑞穂
取締役…………… 石原 和人
取締役…………… 大谷 真二郎
社外取締役…………… 草刈 貴弘
社外取締役…………… 田口 晶弘
社外取締役(監査等委員)…………… 富田 隆司
社外取締役(監査等委員)…………… 深谷 玲子
社外取締役(監査等委員)…………… 森口 茂樹

株式情報

発行可能株式総数 800,000,000 株

発行済株式の総数 265,332,300株(自己株式7,977株を含む)

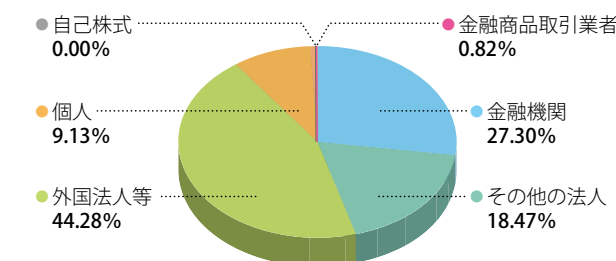
株主数 13,125名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,786,900	14.24%
ポウエンホールディングス株式会社	23,084,032	8.70%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,622,000	7.39%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON	7,778,029	2.93%
アイシーエスピー有限公司	7,200,000	2.71%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	6,982,928	2.63%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	6,690,206	2.52%
宮田 昌彦	5,822,500	2.19%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	5,306,636	2.00%
宮田 憲次	5,075,600	1.91%

(注)持株比率は、自己株式(7,977株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



「統合報告書2025」を発行しました

当社は毎年、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様へ当社グループへのご理解を深めていただくことを目的として、統合報告書を発行しています。

「統合報告書2025」では、新中期経営計画のスタートにあたり、中長期的なビジョンの実現に向けた具体的な戦略・施策、当社の強みである技術力と現場力を基盤とした持続的な成長と企業価値向上への道筋を示すとともに、新中期経営計画の狙いや注力領域、成長戦略や財務戦略についてアナリストの方々の外部視点を交えながら解説し、計画の背景や実行に向けた覚悟を、より立体的に伝えています。また、社外取締役による対談や監査等委員へのインタビューなどを通じて、ガバナンスの実態を多角的に紹介しています。

持続的な企業価値向上に資する当社の強みや独自性へのご理解をより深めていただく一助となる本書を、ぜひご覧ください。

https://www.asahi-intecc.co.jp/esg#integrated_report



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ

<https://www.asahi-intecc.co.jp/> に掲載します。

但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。